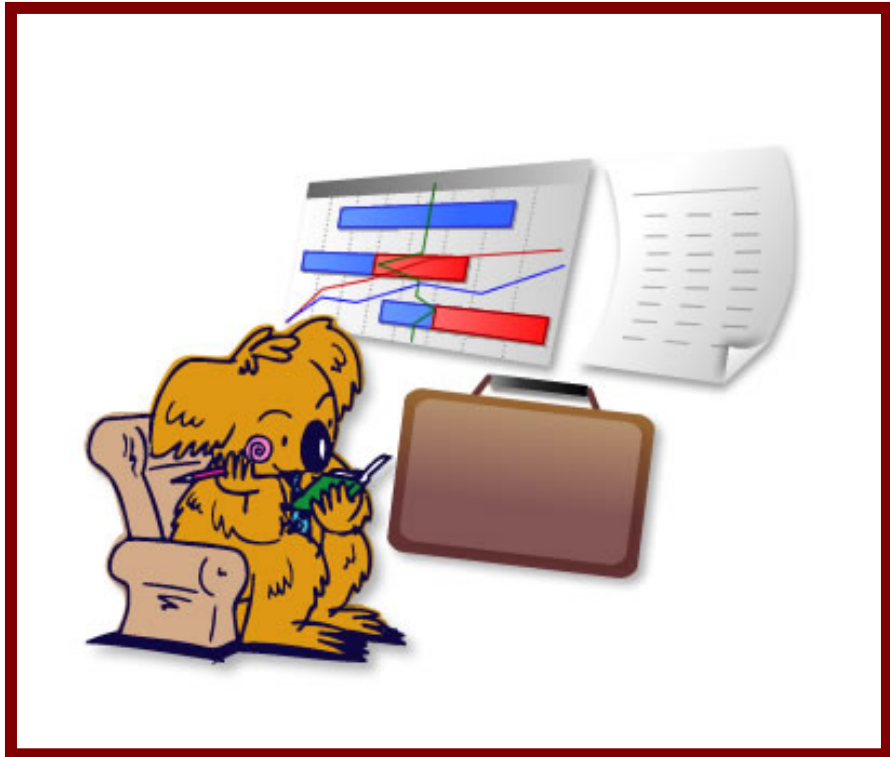


# M1 プロジェクト管理ソフトウェア Ver.6.0 for Windows

## ●ソフトウェアご使用の手引き●





# ソフトウェアご使用の手引き

---

プログラム名 : M1 for Windows Ver.6.0 (Rev.1.20)  
作成年月 : 2009年12月  
著作権者 : 三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社  
発売元 : 三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社

## ～ 目次 ～

1.	製品の構成 .....	1
1.1.	製品内容物一覧 .....	1
1.2.	マニュアルの構成 .....	2
1.3.	動作環境 .....	2
2.	注意事項および制限事項 .....	3
2.1.	注意事項 .....	3
2.2.	制限事項 .....	5
3.	その他 .....	10

# 1. 製品の構成

---

## 1.1. 製品内容物一覧

---

この製品は以下の内容物で構成されています。

### パッケージ製品

No	内容物	入手先
1	M1 for Windows インストールプログラム (m1v60setup.exe)	http://www.mworld.jp/ より ダウンロードしてください
2	ビギナーズガイド (m1v60begin.pdf)	
3	ご使用の手引き (本マニュアル)	
4	ソフトウェア使用契約書	パッケージに含まれています
5	ユーザ登録カード	
6	1's サポート・サービスのご案内	
7	ライセンス許可証	

### ダウンロード製品

No	内容物	入手先
1	M1 for Windows インストールプログラム (m1v60setup.exe)	http://www.mworld.jp/ より ダウンロードしてください
2	ビギナーズガイド (m1v60begin.pdf)	
3	ご使用の手引き (本マニュアル)	
4	ソフトウェア使用契約書	http://www.mworld.jp/ 上で 参照または登録してください
5	ユーザ登録	
6	1's サポート・サービスのご案内	購入先よりメールにて送付されます
7	ライセンス許可証または登録キー	

※ M1 for Windows インストールプログラムは、制限(保存できる作業数が9個まで)付きの体験版として配布されていますが、ご購入いただいた登録キーを入力することにより、制限が解除されます。

## 1.2. マニュアルの構成

---

---

M1 には、次のようなマニュアルとヘルプが用意されていますので、目的に合わせて使い分けてください。

### ご使用の手引き(本マニュアル)

まず、最初にお読みください。M1 を使用する上での注意事項などについて説明しています。

### ビギナーズガイド

初めて M1 をお使いになる方を対象に M1 の基本操作やチュートリアル(例題)について説明していません。

### オンラインのヘルプトピック

「ビギナーズガイド」の内容を含む、M1 に関するすべての機能を説明しています。

## 1.3. 動作環境

---

---

本製品を動作させるためには、下記の環境が必要です。

対応 OS	Microsoft® Windows® 7 (32 ビット版、64 ビット版) Microsoft® Windows Server® 2008 (32 ビット版、64 ビット版) Microsoft® Windows Vista® (32 ビット版) Microsoft® Windows Server® 2003 (32 ビット版) Microsoft® Windows® XP (32 ビット版) Microsoft® Windows® 2000
必要メモリ容量	Windows® の動作環境に準じます。(128MB 以上を推奨)
必要空きディスク容量	7MB 以上の空き容量が必要
画面の解像度・色数	800x600 ピクセル以上が必要(1024x768 以上を推奨) High Color(16 ビット 65,536 色)以上が必要

## 2. 注意事項および制限事項

---

### 2.1. 注意事項

---

---

#### ファイルの互換性

- Ver.6.0 からファイル形式が一部変更されました。そのため、Ver.6.0 で保存した M1 ファイルは、Ver.5.0 以前の M1 では開くことができません。  
Ver.5.0 以前の M1 とファイルを交換する場合は、「名前を付けて保存」を選択し、ファイルの種類として「Ver.5.0 プロジェクトファイル」または「Ver.3.0-4.0 プロジェクトファイル」を指定して保存してください。

#### 実績計上

- 実績計上を行うと、計上日付以前の作業の変更が制限されるほか、以下の操作は行えなくなります。実績計上を削除すると、制限は解除されます。詳細は、ヘルプを参照してください。
  - ・ プロジェクトリンクは行えません。
  - ・ 日付系コピーで、コピー先として計画日付／実際日付は選択できません。
  - ・ 作業情報フォームでの入力はできません。
  - ・ ガント図でのバーのドラッグによる作業の新規作成、移動、変更は行えません。

#### 他文書へのM1オブジェクト貼り付け

- 同じマシン上に以前のバージョンの M1 が混在している場合、M1 オブジェクトの貼り付けを行った際に、予期せず以前の M1 が動作してしまい、オブジェクトの貼り付けができなくなる恐れがあります。混在使用は行わないようお勧めいたします。

#### グループウェアProWebRabbitとの連携

- サーバ(グループウェア ProWebRabbit)へアップロード可能な M1 ファイルのサイズは、最大で約 4MB までとなります。
- サーバ(グループウェア ProWebRabbit)からダウンロードを行い、編集結果をサーバへ保存できるのは、M1 Ver.4.0 以降の新機能です。Ver.3.1 以前の版でも、サーバからダウンロードを行って開くことはできますが、編集結果をサーバへ保存することはできません。  
また、同じクライアントマシン上に、Ver.3.1とVer.4.0以降が混在している場合、ダウンロードを行った際に、予期せず Ver.3.1 で開かれてしまい、サーバへの保存ができなくなる恐れがあります。混在使用は行わないようお勧めいたします。
- サーバ(グループウェア ProWebRabbit)へアップロードする M1 ファイルは、ProWebRabbit がサポートするバージョン形式である必要があります。

M1 ファイルの形式	ProWebRabbit
Ver.2.0 プロジェクトファイル	ProWebRabbit Ver.4.0 以降が必要
Ver.3.0-4.0 プロジェクトファイル	ProWebRabbit Ver.5.0 以降が必要
Ver.5.0 プロジェクトファイル	ProWebRabbit Ver.5.0 以降が必要
Ver.6.0 プロジェクトファイル	ProWebRabbit Ver.5.1 以降が必要

## 既定値の設定

- 初期状態では、新規作成時に既定のフォームとして、M1 のインストール先フォルダの「Default.m1w」を読み込む設定となっています。  
この設定の場合、「文字の色」、「スケール」、「スケール線」、「イナズマ線」、「パート」、「グリッド」、「作業時間帯」、「その他」の設定は、変更ができません。  
これらの既定値設定を変更する場合は、「ファイル」-「開く」コマンドにより、既定のフォーム（初期状態では「Default.m1w」）を開き、「オプション」-「文字の色」、「オプション」-「スケール」、「オプション」-「スケール線」などのコマンドを選択して設定を変更し、ファイルを保存して閉じます。
- 初期状態で読み込まれる既定のフォーム「Default.m1w」では、2000 年～2030 年の祝日が休日として設定されています。  
既定の休日を変更する場合は、「ファイル」-「開く」コマンドにより、既定のフォームを開き、「プロジェクト」-「プロジェクトカレンダー」コマンドにより変更し、ファイルを保存して閉じます。

## M1 for Windows Ver.5.0以前との互換性

- Ver.6.0 では、原価グラフでの原価の計算・配分方式が変更になりました。Ver.5.0 以前は、実績原価は開始日に配分されていましたが、Ver.6.0 では終了日または実績計上に配分されます。終了日が未入力の作業で、未計上の原価がある場合は、グラフの表示終了位置から、最終の実績原価の位置まで垂直の線で表示されます。

## M1 for Windows Ver.3.0との互換性

- Ver.3.0 には、サマリのイナズマ線の設定機能がありません。そのため、Ver.3.1 以降で作成したファイルを Ver.3.0 で開くと、サマリのイナズマ線の状態が異なって表示される場合があります。
- Ver.3.1 以降で作成したファイルを、Ver.3.0 で開いて保存し直すと、サマリのイナズマ線の設定が初期状態に戻ります。
- Ver.3.0 には、スケールの休日線の色や付箋紙の背景色を淡色表示する機能がありません。そのため、Ver.3.1 以降で作成したファイルを Ver.3.0 で開くと、通常色表示となります。
- Ver.3.1 以降では、既定のフォントが Ver.3.0 と異なります。Ver.3.0 では明朝でしたが、Ver.3.1 以降ではゴシックとなっています。  
Ver.3.0 で作成されたファイルのフォントを、Ver.3.1 以降の既定のフォントに変更するには、「既定値設定」-「フォント」を選択し、OK ボタンを押します。これにより、セルのフォントが、Ver.3.1 以降の既定のフォントに置き換わります（Ver.3.0 の明朝のフォントが、Ver.3.1 以降のゴシックのフォントに置き換わります）。  
ただし、セルごとに個別指定されたフォントは置き換わらないため、必要に応じて、個別に再設定を行ってください。
- Ver.3.1 以降では、印刷時の欄のフォントが Ver.3.0 と異なります。Ver.3.0 では明朝固定でしたが、Ver.3.1 以降ではゴシック固定となっています。
- Ver.3.1 以降では、ダイアログ上のスプレッドシート状の入力欄（グリッド）でのキー操作が一部異なります。  
入力開始のキー操作は、Ver.3.0 では Enter キーでしたが、Ver.3.1 以降では F2 キーとなっています。  
Ver.3.0 では Enter キーでダイアログを閉じることができませんでしたが、Ver.3.1 以降では Enter キーでダイアログが閉じます。

## 2.2. 制限事項

---

---

### 他文書へのM1オブジェクト貼り付け

- 他文書へ M1 をオブジェクトとして貼り付けた場合、用紙サイズは、A4 固定となります。M1 上で用紙サイズを変更しても反映されません。
- 他文書へ貼り付けた M1 のイメージは、M1 上で印刷または印刷プレビューした結果とは異なります。

### 他文書へのM1オブジェクト貼り付け

- 他文書へ M1 をオブジェクトとして貼り付けた場合、用紙サイズは、A4 固定となります。M1 上で用紙サイズを変更しても反映されません。
- 他文書へ貼り付けた M1 のイメージは、M1 上で印刷または印刷プレビューした結果とは異なります。

### ガント図

- ガントバーの「作業の実際3」を使用して、実際開始日がシステム日付より未来の日を示している場合、イナズマ線日付を設定しないと開始マークのみとなり、バーの終端が表示されません。この場合は、イナズマ線日付を設定することにより、バーの終端が表示されるようになります。
- イナズマ線は、計画バーの長さに対する作業の終了率で表します。そのためサマリ作業では、計画開始日と計画終了日の間に構成作業が割りあたっていない日が含まれると、構成作業のイナズマ線が遅れているにもかかわらず、サマリ作業のイナズマ線は進んでいる状態になることがあります。
- 構成リソースに対するイナズマ線は、サポートされていません。
- 計画開始日の制約条件が「固定」以外の場合、計画開始日を前作業の計画終了日とプロジェクト開始日の遅い方の日付より前に設定することができません。
- 前作業の終了日が後作業の開始日より遅く設定した場合、ガントチャートの接続線がバーと重なって見えない場合があります。
- 年単位の作業を時間単位のスケールで表示するなどのバーが非常に長くなる場合、バーの周りに表示される文字列やイナズマ線、付箋紙の位置が正しく描画されない場合があります。
- フォーム連動を行っている場合、最終行が表示されている状態で縦スクロールすると休日線が最終行より下に表示されることがあります。
- フォーム連動を行っている時に 2035 年 12 月 31 日が画面上に表示されている場合、上下のフォームで表示開始日が一致しないことがあります。一度フォーム連動を解除してからフォームを連動させることにより、表示開始日を一致させることができます。
- 作業日数(作業時間)が開始マークや終了マークの幅より小さくなると開始マークが終了マークより後ろに表示されます。
- 作業の計画のバーは、作業の属性毎に表示／非表示を切り替えることはできません。
- マイナースケールが時間単位以外のときバーの長さは最低半日になります。

### パート図

- 接続線の色は、ボックスの色と同じになります。

## スプレッドシート

- スプレッドシートのセルに対してコピーを行った場合のクリップボードへ書き出すテキスト形式のデータは、入力形式です。画面上に見えている形式ではありません。入力形式は、入力バーに表示される文字列の形式です。
- 全構成リソース名で設定されているリソース名を消去するとその作業の構成リソースから削除されます。
- 構成作業の作業日数が全て 0 日でもサマリ作業の作業日数は、1 日になります。
- フォームで利用できない比較項目を含んだフィルタを実行すると条件に当てはまる行が 0 件になります。
- 一つのフォーム内で同一列名の列が複数存在する場合は、セルフォントの設定は、同一列名の列すべてで同じになります。
- セルに表示される文字列は、折り返し指定を行っていない場合は、半角文字で最大 256 文字となります。
- 以下の項目は、スプレッドシートに表示することはできません(列として選択できません)。
  - ・ プロジェクト売上金額
  - ・ 実績計上情報

## リソース

- M1 for Windows では、リソース名にカンマ(半角の「,」または全角の「,」)および、読点(半角の「,」または全角の「,」)を使用できません。また、リソース名の先頭と最後にスペース(半角、全角とも)を使用することもできません。
- M1 for WindowsV2.0 以前のファイルでリソース名に全角のカンマ「(, )」または、読点(半角の「,」または全角の「,」)を使用していた場合、読み込み時にスラッシュ(/)に変換されます。スラッシュ(/)に変換の時に、同一のリソース名になる場合は、リソース名の最後に番号が振られます(例:「/-001」)。

## フォーム・フォームセット

- フォームを切り替えてもフォームセットの組み合わせは変更されません。フォームセットの組み合わせを変更する場合は、フォームセットダイアログで変更してください。
- フォームの読み込みは、同名のフォームへのの上書きは行いません。必要に応じてフォームを削除してから読み込みを行ってください。
- 標準で用意されている作業単位ガント図、リソース単位ガント図、作業情報フォームは削除することができません。
- 標準で用意されている実績入力フォームセットの名前は変更できません。

## ファイル入出力

- プロジェクトファイルの拡張子は、「M1W」でなければなりません。
- ビューファイルの拡張子は、「M1V」でなければなりません。
- 実績入力ファイルの拡張子は、「M1J」でなければなりません。
- M1 for Windows では、ファイルの排他処理などのために指定したファイル名に拡張子「000」～「999」を付けたファイルまたは、ファイル名に「a」～「j」の文字を組み合わせた拡張子のファイルを使用します。これらの拡張子を持つ利用者が作成したファイルが存在すると上書きを行うことがありますので、これらのデータがないことを確認して利用してください。

- ビューファイルのバックアップファイルは作成しません。
- リソース単位の実績入力を行った場合は、バックアップファイルを作成しません。
- インポート／エクスポートするファイルの拡張子は「CSV」でなければなりません。
- ネットワークコンピュータ上にあるファイルは、予めネットワークドライブの割り当てを行ってください。

## プロジェクトビュー

- 挿入、後挿入、削除機能は、列に対してのみ有効です。

## 印刷

- プリンタの設定により、黒以外の色が印刷されない場合があります。このような場合は、モノクロ印刷を指定して印刷してください。
- 印刷プレビューでズームを行うと文字列の左右が欠けて表示されることがあります。
- 印刷ダイアログでエラーメッセージが表示されたときに F1 キーを押してヘルプを表示させた場合、印刷ダイアログのヘルプになります。
- 付箋紙またはパートボックスがページをまたがっている、または、印刷領域外にある場合、文字が印刷領域外にはみ出して印刷されることがあります。この場合は、ページ内の印刷領域に入るように付箋紙またはパートボックスを移動させてください。
- 縮小率が大きいとき、プリンタの設定で用紙サイズ、用紙方向を変更すると縮小率が 100%に戻ることがあります。
- 印刷ガントバー範囲で「全部」を指定した場合、印刷は以下の日付の最も遅い日で終了します。
  - (1) プロジェクト終了日
  - (2) 計画終了日
  - (3) プロジェクト実際終了日
  - (4) 印刷を実行した日

## インポート

- 通常入力できないデータを不正なデータに修正してインポートした場合、不正なプロジェクトデータになる可能性があります。この場合正常に処理できなくなります。

## データベース

- ODBC 経由でデータを書き込む場合 1 つの作業に対して前作業または、後作業が 50 個以上あるプロジェクトは保存できません。
- データベースへ保存時に、TEXT を選択することで、テキスト形式での出力ができますが、データベースを開く際に、テキスト形式のデータは選択できません。出力専用となります。
- 以下の項目は、データベース出力の対象外です。
  - ・ プロジェクト売上金額
  - ・ 実績計上情報

## M1 DOS版データとの互換性

- M1 DOS 版のデータファイルは、読み込めません。

## その他

- ご使用の Windows の環境により、文字の入力欄で、キー操作によるIMEの再変換(入力済みの内容を選択して[変換]キーを押下)が正常に機能しない場合があります。  
[変換キー]ではなく、ショートカットメニュー(マウスの右ボタンを押した際に表示されるメニュー)から

[再変換]を選択することで再変換が可能です。

- フィルタ名、フォーム名、フォームセット名でスペースが使用できるため、使用箇所によっては、識別できない場合があります。
- 作成したデータファイルを他のシステム環境で使用した場合、使用していたフォントが移行先システムに存在しないと Windows が自動的にそのフォントに近いフォントを割り当てますが、ダイアログで設定内容を表示させたときフォント名が空欄となります。必要に応じてフォントの再設定を行ってください。
- ソートとフィルタの両方を実行中に、一方の解除を行うと両方の実行が解除されます。
- PERT/CPM 計算中に M1 が処理できる範囲の日付を越えた場合は、計算結果が不正になります。
- サマリ作業の実際終了日は、全ての構成作業の終了率が 100%にならないと設定されません。
- 構成作業に休日無視の作業が存在してもサマリ作業では考慮されません。サマリ作業の計画開始日と計画終了日は一番早い開始日と一番遅い終了日で作業日数はその期間の作業できる日数です。
- 作業の開始遅れの日数は、休日を含みません。
- 作成可能な作業数の最大は 9,999 作業 (Light 版は 39 作業、体験版は 9 作業まで保存可能)ですが、作業数が多くなると処理速度やメモリ性能等が低下しますので、使用しているシステムのパフォーマンスに合わせて作業数を調整してください。
- プロジェクトリンク作業に対してマイルストーン作業の指定コマンドを実行してもマイルストーン作業にはなりません。
- 使用中のフォームやフィルタの設定を変更することは、できません。
- 構成リソースの作業日数、計画作業量、投入数、作業率の計算は、整数計算となっています。そのためダイアログや説明書に表示されている計算式と合わない場合がありますが、整数計算の範囲で最適な内容となっています。
- 既定値設定を行うことのできる次の設定項目は、設定後のフォームの追加から既定値が有効になります。
  - ・ 前作業を表示する(スプレッドシート)
  - ・ 行の高さ、列の幅(スプレッドシート)
  - ・ 文字の色(スプレッドシート)
  - ・ 現在線を表示する(ガント)
  - ・ ロールアップ表示(ガント)
  - ・ スケール(ガント)
  - ・ スケール線(ガント)
  - ・ イナズマ線(ガント)
  - ・ ページブレイクを表示する(パート)
  - ・ ズーム(パート)
  - ・ パート(パート)
  - ・ グリッド(パート)
  - ・ 作業時間帯
  - ・ フォーム
  - ・ その他(メッセージ表示/非表示を除く)
- 既定値設定のファイル履歴の数は、M1 for Windows の再起動後から有効になります。
- ダイアログで文字を入力するフィールドに半角文字と全角文字を混在させると、フィールドの右端の文字が表示されない場合があります。
- モード別既定フォームセットでは、リソース単位ガント図と作業単位ガント図が含まれるフォームセットを設定することができません。

- セルに設定したフォントは、作業別ガント図のスプレッドシートでのみ有効です。作業単位とリソース単位のガント図とスプレッドシートでは、セルのフォントの設定はできません。また、パート図での作業名のフォントは、ボックス設定の作業名フォント指定で行ってください。
- シミュレーション計算は、実行モードのみ行われます。
- ツールバーをオーバーラップウィンドウにした場合、タイトルになにも表示されない場合があります。
- ツールバーを横または縦に隣り合わせてならべた状態でウィンドウのサイズを小さくすると、ツールバーが自動的に移動してしまいます。
- 入力バーを非ドッキング状態（フロート状態）にした場合、入力バーでの入力はできません。
- メモリ不足が発生した場合は、システム全体の動作が不安定な状態となります。各操作が正しく行われなかったり、最悪の場合、アプリケーションエラーやシステムダウンが発生します。このような状況にならないように十分な仮想メモリを確保してください。
- ご使用のビデオカードの種類もしくは、ビデオドライバーのバージョンによりガントバーなど正しく表示されない場合があります。コントロールパネルの画面の設定（画面の解像度・色数）を変更して、正しく表示されるか確認してください。
- 最低余裕の範囲は、0 日～1000 日です。
- 実績入力できるデータの最大値は、日数、時間とも 999.99 です。
- 原価機能で処理できる数値は 2,000,000,000 までです。これを越えた場合は、計算結果が正しく表示されません。
- カレンダーの作業時間帯の終わりが 24 時の場合、機能によっては、計算結果が正しく表示されない場合があります。
- ダイアログなどのエディットフィールドへ全角文字と半角文字を混在させた場合、フィールドの最後の文字が「・」などで表示されることがあります。
- 構成リソースの実際作業量を入力すると実際開始日が未入力の時だけ実際開始日に計画開始日が設定されます。
- その他の設定のモード別既定フォームセットとフォームセットの処理モードの設定が相反する場合、フォームセットの設定が有効になります。
- タブ付きのダイアログでタブ、OK、キャンセル、ヘルプにフォーカスがある場合、ダイアログ内のフィールドへニーモニックを使ってフォーカスを移動することができない場合があります。
- パスワードの設定では全角文字が扱えません。パスワードの設定は、半角文字を使用してください。
- グラフの描画終了位置は、作業の実際終了日から求められます。そのため実績入力フォームで実績だけ入力して実際終了日が入力されていない場合は、グラフが正しく表示されないことがあります。
- 実績入力されたデータは、スケールの最後の作業可能時間に入ります。ただし、時間スケール以外で入力した実績データを時間スケールで表示すると、スケールの最初の作業可能時間に入ります。
- フォームの連動されているフォームセットを表示すると、データの編集をしていない場合でもウィンドウを閉じるときにデータが変更されている旨のメッセージが表示されることがあります。
- 説明書、ヘルプで使用している画面の画像は、すべて Windows XP 上のものです。OS の種類、画面の設定により異なることがあります。
- 長いファイル名を使用している場合ファイル履歴にパスが表示されない場合があります。

## 3. その他

---

### 著作権について

- M1 for Windows インストーラでは、LHA の作者、吉崎栄泰氏により公開されている LHA Ver2.11 のソースファイルを使用しています。プログラム中の LHA に関する処理についての著作権は、吉崎栄泰氏にあります。
- このプログラムの実行ファイル、ドキュメント等、上記以外のファイルの著作権等の権利は三菱電機インフォメーションシステムズ(株)が有します。

### 責任の制限

著作権者は、利用者がこのプログラムを使用されるに際して生じた損害に対して、一切の責任を負いません。

### mworldについて

弊社の製品ホームページ mworld では、製品の最新情報や、アップデートプログラム、便利な Tips、FAQ などを用意していますので、ぜひご覧ください。

M1 のプログラムが更新された場合、当ホームページからアップデートプログラムを入手(リビジョンアップ)することができます。

URL は以下の通りです。

<http://www.mworld.jp/>

\* Windows® は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。  
その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。